

評価対象年度	平成19年度
--------	--------

施策評価シート

政策	5	施策	12
----	---	----	----

施策名	12 宮城の飛躍を支える産業基盤の整備
-----	---------------------

施策担当部局	土木部
--------	-----

「宮城の将来ビジョン」における体系	政策名	5 産業競争力の強化に向けた条件整備
-------------------	-----	--------------------

評価担当部局 (作成担当課)	土木部 (土木総務課)
-------------------	----------------

施策の目的 (目標とする宮城の姿)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仙台塩釜港は、周辺地域と一体となって、東北地方の持続的な経済成長と国際競争力を支える中核的国際物流拠点として発展しています。 ○ 石巻港は、県北部地域の経済を支える産業拠点として重要な役割を担っています。 ○ 仙台空港は、東北の空の玄関にふさわしい豊富な国際路線を有し、東北の中核空港として国内外からの利用者が増加するとともに、周辺地域には、空港関連のサービス業や流通業等が集積しています。 ○ 広域的物流・交流や広域連携強化のための道路網が構築され、県内各地域の移動時間が短縮されています。
その実現のために行う施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 貨物量の増加や船舶の大型化に対応した岸壁やふ頭用地の造成など、港湾機能拡充のための施設整備 ◇ 港湾貨物の需要開拓及び新規航路開設に向けた誘致活動(ポートセールス)の強化 ◇ 仙台港背後地の整備など港周辺地域の貿易関連機能や流通・工業機能の整備促進 ◇ 空港の新規路線開設及び運休路線の再開に向けた誘致活動(エアポートセールス)の強化 ◇ 仙台空港アクセス鉄道沿線の臨空都市整備など産業経済拠点の形成に向けた流通・商業機能の整備促進 ◇ 三陸縦貫自動車道など高速道路網及び広域ネットワークの形成に向けた道路網の整備促進

事業費 (単位:千円)	年度	平成19年度 (決算(見込)額)	平成20年度 (決算(見込)額)	平成21年度 (決算(見込)額)
	県事業費	16,632,305	—	—

施策に関する社会経済情勢等の状況 (全国・本県の状況, 法令・条例・計画等策定の状況等について)

・大和リサーチパーク(仮称)に東京エレクトロン(株)、第二仙台北部中核工業団地にセントラル自動車(株)の立地が決定し、仙台北部中核工業団地のトヨタ東北(株)がエンジン工場新設、柴田町の東北リコー(株)がトナー工場新設を決めるなど、企業立地が進んでいる。今後、さらに「自動車関連産業」及び「高度電子機械産業」の産業集積に向けた取組を展開することとしている。

・県内に立地する企業や今後進出が見込まれる企業の物流ニーズに対応するため、仙台北部道路などの道路ネットワークや、港湾・空港等の交通基盤の一体的な整備が求められている。

県民意識調査結果

調査対象年度 (調査名称)			平成19年度 (平成20年県民意識調査)		平成20年度 (平成21年県民意識調査)		平成21年度 (平成22年県民意識調査)	
この施策 に対する 重視度	重 要	重視の 割合	29.9%	63.4%				
	やや重要		33.5%					
	あまり重要ではない		11.7%					
	重要ではない		3.5%					
	わからない		21.4%					
	調査回答者数		1,727					
この施策 に対する 満足度	満 足	満足の 割合	8.0%	38.2%				
	やや満足		30.2%					
	やや不満		18.8%					
	不 満		6.3%					
	わからない		36.6%					
	調査回答者数		1,701					

調査結果について

・重視度は63.4%であり、この施策を重視している人の割合は6割を超えている。

・満足度は38.2%と約4割にとどまっており、今後も産業基盤の整備を促進する必要がある。

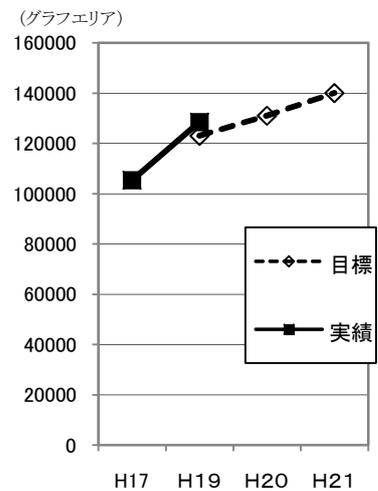
また「わからない」と回答した人が36.6%もあり、事業の周知に今まで以上に努める必要がある。

・優先すべき項目としては、「三陸自動車道など高速道路網及び広域ネットワークづくりに向けた道路網の整備促進」が30.9%を占めており、高速道路等の一層の整備が求められている。特に、気仙沼・本吉圏域で48.1%、登米圏域で41.1%と高くなっており、両圏域における高速道路網の整備に対する期待の大きさが伺える。

目標指標等の状況

※目標指標等の達成度 A:「目標値を達成している」
 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している、又は現状維持している」
 C:「目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している」
 N:「現状値が把握できず、判定できない」

目標指標等名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H19	H20	H21
1 仙台塩釜港(仙台港区)のコンテナ貨物取扱量(単位:TEU)	指標測定年度	H17	H19	H20	H21
	目標値(a)	-	123,000	131,000	140,000
仙台塩釜港(仙台港区)における外国貿易に係る実入りコンテナ貨物の取扱量	実績値(b)	105,380	128,461	-	-
	達成(進捗)率(b)/(a)	-	104%	-	-
	達成度	-	A	-	-

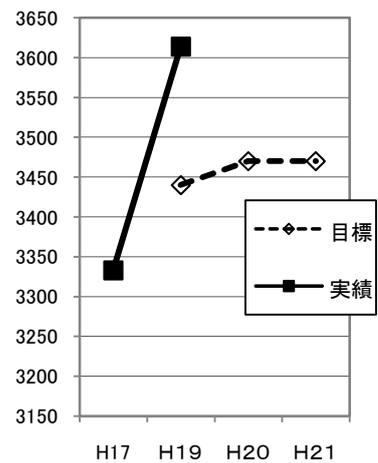


目標値の設定根拠
 定期コンテナ航路の開設以来、コンテナ貨物取扱量(全て海外が最終仕向地)は実入り、空コン込みとともに順調に推移してきている。平成18年3月に東北地方整備局から出された「港湾整備基礎調査報告書」による将来推計を参考に目標を設定した。

実績値の分析
 個別企業訪問やセミナーにおいて、仙台国際貿易港の優位性を積極的にPRしており、その結果、目標値を5,000TEU余り上回り、順調に推移している。

全国平均値や近隣他県等との比較
 東北各港でH19実入り取扱数量を公表をしているところは、秋田港(31,575TEU,対前年+0.7%)、八戸港(21,038TEU,▲0.0%)、小名浜港(19,099TEU,+28.1%)、酒田港(7,052TEU,▲7.1%)となっており、仙台港が東北の拠点港湾としての地位を高めている。

目標指標等名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H19	H20	H21
2 仙台塩釜港(仙台港区)の取扱貨物量(コンテナ貨物除き)(単位:万トン)	指標測定年度	H17	H19	H20	H21
	目標値(a)	-	3,440	3,470	3,470
仙台塩釜港(仙台港区)におけるコンテナ貨物を除く取扱貨物量	実績値(b)	3,333	3,614	-	-
	達成(進捗)率(b)/(a)	-	105%	-	-
	達成度	-	A	-	-

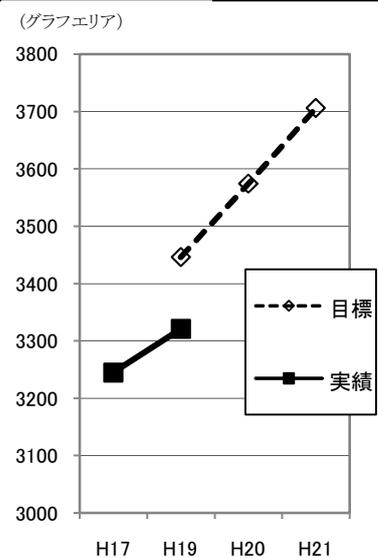


目標値の設定根拠
 企業ヒアリングにより、増加が確実と認められる完成自動車と穀物類の予想取扱量を加味し、目標値を設定した。

実績値の分析
 関東自動工業(株)岩手工場<岩手県金ヶ崎町>の完成自動車の増産により、目標値を174万トン上回り、順調に推移している。

全国平均値や近隣他県等との比較
 東北各港で現時点(平成20年4月)で平成19年度の取扱量を公表をしているところはないが、平成18年度においては、仙台港は最も多い取扱量となっており、仙台港を取り巻く状況から判断して、平成19年度においてもその傾向に変化しないものと予想される。

目標指標等名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H19	H20	H21
3 仙台空港利用者数(単位:千人)	指標測定年度	H17	H19	H20	H21
	目標値(a)	-	3,446	3,574	3,706
仙台空港を発着する国内線、国際線旅客便を利用する旅客数	実績値(b)	3,245	3,321	-	-
	達成(進捗)率(b)/(a)	-	96%	-	-
	達成度	-	B	-	-

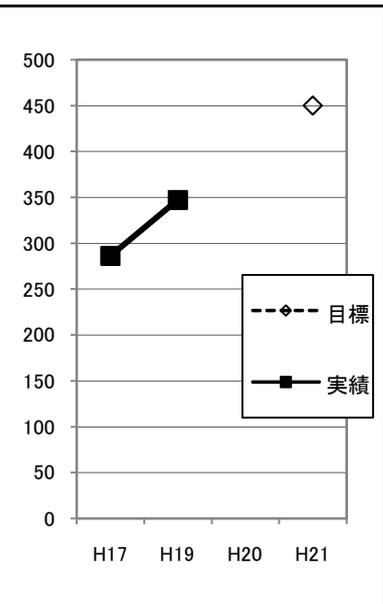


目標値の設定根拠
 目標値である仙台空港旅客数は、過去20年間の航空旅客数やGDPの動向を基に将来予測を行い算出している。

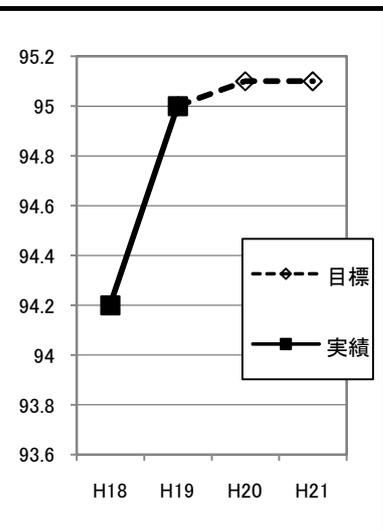
実績値の分析
 成果指標である平成19年度の仙台空港利用者数(国内線、国際線)は、目標値対比で96.3%であるが、香港線の再開(冬季運航)、広州線就航、台北線の増便(平成20年7月から)されたことなどから、ある程度事業の成果はあったと判断できる。

全国平均値や近隣他県等との比較
 該当なし

目標指標等名(下段:説明)		評価対象年度	初期値	H19	H20	H21
4	仙台空港国際線利用者数(単位:千人)	指標測定年度	H17	H19	H20	H21
		目標値(a)	-	-	-	450
	仙台空港を発着する国際線旅客便を利用する旅客数	実績値(b)	286	347	-	-
		達成(進捗)率(b)/(a)	-	-	-	-
		達成度	-	B	-	-
目標値の設定根拠	仙台空港国際線利用者数を平成21年度において平成17年度の55%増を目指すものとし、みやぎ国際戦略プランの「香港・台湾プロジェクト」に係る目標値を選定した。					
実績値の分析	成果指標である平成19年度の仙台空港国際線利用者数は、前年度対比で102.5%であり、香港線の再開(冬季運航)、広州線就航、台北線の増便決定(平成20年7月から)されたことなどから、ある程度事業の成果はあったと判断できる。 (参考)仙台空港国際線利用者数 ・H18年度(実績値) 339千人					
全国平均値や近隣他県等との比較	該当なし					



目標指標等名(下段:説明)		評価対象年度	初期値	H19	H20	H21
5	高速道路のインターチェンジに40分以内で到達可能な人口の割合(単位:%)	指標測定年度	H18	H19	H20	H21
		目標値(a)	-	95.0	95.1	95.1
	高速道路インターチェンジまでの到達時間が40分以内となる地域内人口の県総人口に対する割合	実績値(b)	94.2	95.0	-	-
		達成(進捗)率(b)/(a)	-	100%	-	-
		達成度	-	A	-	-
目標値の設定根拠	国内交流を進めるための交通基盤整備の指標としては、国内各地と連結する高速道路ICまでの行きやすさが適切と考えられる。 目標値の設定は、三陸縦貫自動車道等の供用時期を加味して設定している。					
実績値の分析	平成19年度は新たなIC供用があり、計画どおり目標値を達成した。					
全国平均値や近隣他県等との比較	該当なし					



施策評価(総括)

施策の成果(進捗状況)	評価	評価の理由
<p>・目標指標等, 県民意識調査結果, 社会経済情勢, 事業の実績及び成果等から見て, 施策に期待される成果を発現させることができたか(「目標とする宮城の姿」に近づいているか)。</p>	概ね順調	<p>(目標指標等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「仙台塩釜港(仙台港区)のコンテナ貨物取扱量」及び「仙台塩釜港(仙台港区)の取扱貨物量(コンテナ貨物除き)」は目標値を上回っており、順調に推移している。 「仙台空港利用者数」は目標値を下回ったものの達成率は96.3%であり、「仙台空港国際線利用者数」についても前年度比102.5%と伸びており、目指す方向に推移している。 「高速道路のインターチェンジに40分以内で到達可能な人口の割合」は95.0%と目標を達成している。 <p>(県民意識調査結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 重視の割合が63.4%と重要ではないとする割合15.2%を大幅に上回っており、県民は本施策を必要と感じていると判断できる。また、満足度は38.2%となっており、今後本施策を推進する必要がある。 <p>(事業の実績及び成果等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する各事業は、施策実現のため必要性は妥当であり、一定の成果があったと判断できる。 <p>以上のことから、施策の進捗状況は概ね順調と判断する。</p>

施策の課題等と対応方針

①事業構成について	事業構成の方向性	方向性の理由
<p>・施策評価の結果, 県民意識調査結果, 社会経済情勢及び事業の分析結果(必要性・有効性・効率性)から見て, 施策の目的を達成するために必要な事業が設定されているか。事業構成を見直す必要はないか。</p>	現在のまま継続	<p>施策の進捗状況は概ね順調である。また、事業の分析結果から、各事業とも成果をあげており今後も継続して推進することが必要である。したがって、事業構成は現在のまま維持する。</p>

②施策を推進する上での課題等 ※施策が直面する課題や改善が必要な事項等(①の事業構成に関する事項を除く。)

施設の整備には、多額の費用と多くの時間を要するとともに、緊縮財政の下で効率的な執行が求められている。仙台塩釜港(仙台港区)では、過去最高の取扱貨物量を記録し、特にコンテナ貨物は毎年10%を超える伸びを示しており、コンテナ貨物増大への対応や船舶の大型化への対応が必要となっている。

③次年度の対応方針 ※①及び②への対応方針

各事業の推進に当たっては、一層のコスト縮減と事業の効率化を図る。仙台塩釜港については、諸課題に対応するため、平成20年度中の港湾計画改訂を目指す。

施策を構成する事業の状況

(事業分析シートより)

事業の状況						事業の分析結果			次年度の方向性
番号	名称 (担当部局・課室名)	県事業費 (決算見込, 単位:千円)	活動の状況 (活動指標)		成果の状況 (成果指標)	①必要性	②有効性	③効率性	
1	仙台国際貿易港整備事業 土木部・港湾課	287,100	コンテナターミナル拡張 ガントリークレーン 岸壁改良	—	外貨コンテナ 貨物取扱量 (実入り) 128,461 TEU	妥当	成果があった	効率的	拡充
2	石巻港整備事業 土木部・港湾課	1,215,500	南防波堤整備 西防波堤整備	(南)1,660 m (西)607m	製造品出荷 額(木材・木 製品、紙・パ ルプ) 1,336億円	妥当	ある程度成果 があった	効率的	維持
3	港湾振興対策事業 土木部・港湾課	4,524	企業訪問件 数	106件	外貨コンテナ 貨物取扱量 (実入り) 128,461 TEU	妥当	成果があった	効率的	拡充
4	仙台港背後地土地地区画 整理事業 土木部・都市計画課	2,498,314	土地造成面 積	5.7ha	仙台港背後 地地区市街 化率 56.6%	妥当	成果があった	概ね効率的	拡充
5	仙台空港利用促進事業 土木部・空港臨空地域課	9,514	エアポート セールス回数 外国エアライン へのエアポート セールス回数	44回 26回	仙台空港利 用者数(国 内線、国際 線) 3,321千人 仙台空港国 際線利用者 数 347千人	妥当	ある程度成果 があった	効率的	拡充

6-1	仙台空港臨空都市土地 区画整理事業資金貸付金	50,000	単年度貸付 金額	50,000千円	臨空土地 区画整理事業 区域におけ る市街化の 割合	27%	妥当	成果があった	効率的	統合・廃 止
	土木部・空港臨空地域課									
6-2	関下・下増田臨空土地 区画整理補助事業	1,800,000	単年度毎の 事業進捗率	15%	臨空土地 区画整理事業 区域におけ る市街化の 割合	27%	妥当	成果があった	効率的	維持
	土木部・空港臨空地域課									
6-3	(都)大手町下増田線街 路事業	168,500	供用延長	-	時間短縮率	-	妥当	ある程度成果 があった	効率的	拡充
	土木部・都市計画課									
7-1	高規格幹線道路整備事 業	4,792,853	供用延長	11.6km	高速道路IC 40分間交通 圏カバー率	95.0%	妥当	ある程度成果 があった	概ね効率的	拡充
	土木部・道路課									
7-2	地域高規格道路整備事 業	1,169,000	供用延長	-	高速道路IC 40分間交通 圏カバー率	95.0%	妥当	ある程度成果 があった	概ね効率的	拡充
	土木部・道路課									
8	広域道路ネットワーク整 備事業	4,637,000	事業箇所数	1工区	道路改良率	91.9%	妥当	ある程度成果 があった	概ね効率的	維持
	土木部・道路課									
事業費合計		16,632,305								